

一般会計決算審査特別委員会

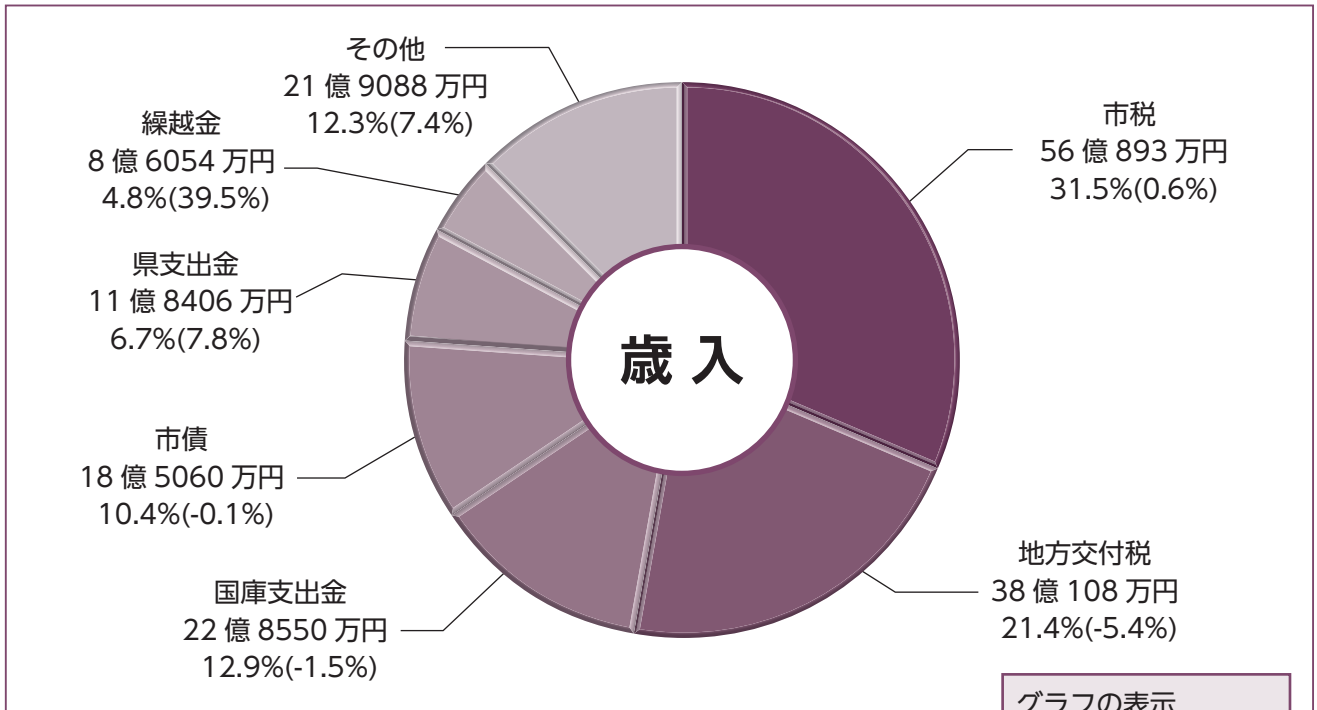
一般会計決算審査特別委員会は7名の委員で構成。

(9月21日、25日、26日開催)

○委員会付託案件の審査

・平成29年度かすみがうら市一般会計歳入歳出決算の認定について

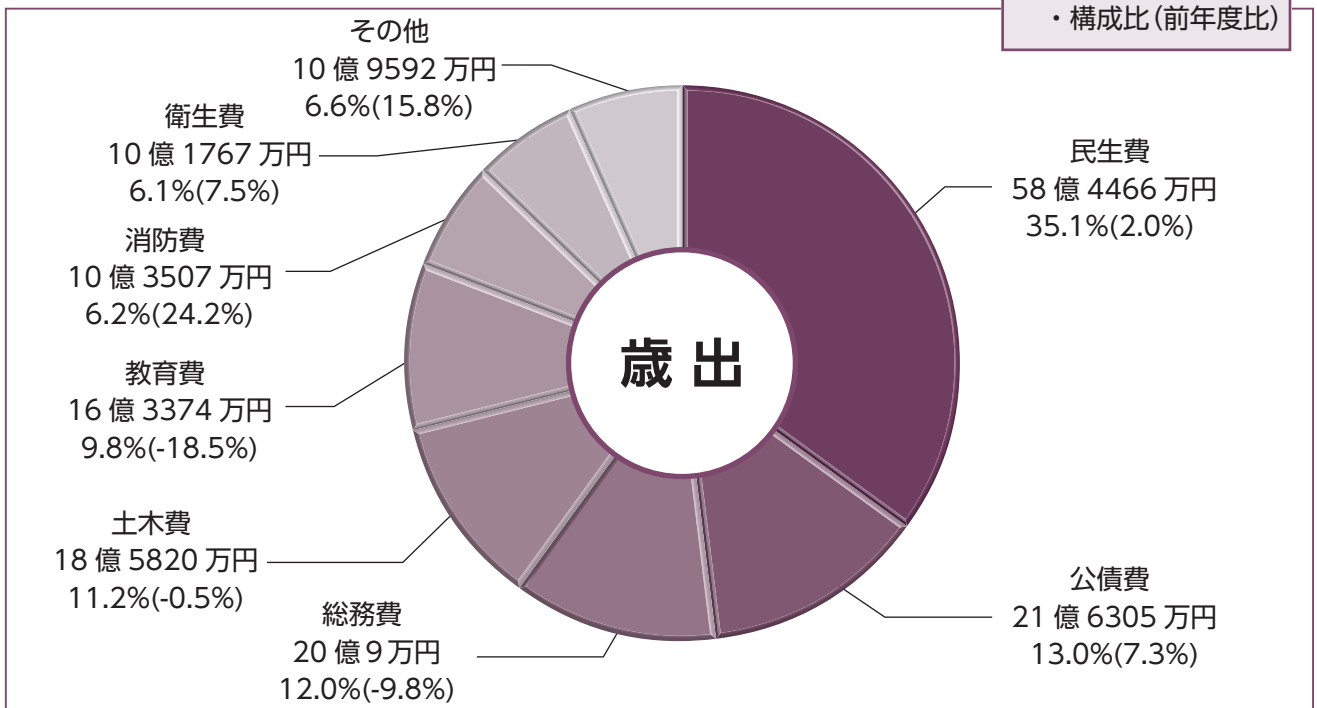
【歳入総額】 177億8161万9711円



グラフの表示

- ・区分
- ・決算額
- ・構成比(前年度比)

【歳出総額】 166億4843万3556円



○審査内容（主な質疑を抜粋）

Q 水産振興事業のワカサギふ化125万8000円の内容は

A 霞ヶ浦北浦水産事務所、漁業協同組合で実施しておりますワカサギのふ化放流事業に霞ヶ浦沿岸の市町村が補助しているものと、水産加工特産品キャンペーン事業補助金として霞ヶ浦北浦水産加工組合へ補助金として支出しており、かすみがうら祭やあゆみ祭りで水産加工品のPR活動を実施しております。



▲かすみがうら祭での水産加工品PR



▲市立図書館（あじさい館内）

Q 図書館の来館者数確保のため、何らかの対策はしているのか

A 夜間仕事帰りの方が利用できる環境として、平成30年度より毎週水曜日と金曜日の閉館時間を2時間延長し午後8時までとしました。

Q 市民参画事業の市政懇談会の参加人数は

A 平成29年度は中学校区ごとに1カ所ずつ、合計3回実施し、霞ヶ浦中地区で26人、下稲吉中地区で19人、千代田中地区で14人、合計で59人参加いたしました。



▲市政懇談会の様子
（千代田公民館）



▲霞ヶ浦中学校

Q 中学校部活動支援事業の支出が大幅に増えた原因は

A 平成29年度については霞ヶ浦中学校を筆頭に非常に優秀な成績を残していただきました。全国大会、関東大会出場バスの借り上げ料について、支出が増えております。

Q やまゆり館の健康づくりコーナーの利用者数について平成29年度の利用者が前年度に比べ減った原因は

A ランニングマシンが経年の劣化により修繕中であったことが要因と思われます。



▲ランニングマシン（やまゆり館）

特別会計・水道事業会計決算審査特別委員会

特別会計・水道事業会計の決算審査特別委員会は7名の委員で構成。(9月21日開催)

○委員会付託案件の審査

- ・平成29年度かすみがうら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成29年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成29年度かすみがうら市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成29年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成29年度かすみがうら市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成29年度かすみがうら市水道事業会計決算の認定について

特別会計決算総額 【歳入】 109億9185万1985円
 【歳出】 107億8355万7803円

特別会計決算の内訳 (カッコ内は前年度比)

	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	53億2185万円(-8.0%)	53億1079万円(-8.2%)
後期高齢者医療特別会計	7億4329万円(6.1%)	7億3644万円(5.5%)
下水道事業特別会計	11億3668万円(3.8%)	11億1772万円(4.3%)
農業集落排水事業特別会計	4億4207万円(-0.3%)	4億3055万円(-1.0%)
介護保険特別会計	33億4796万円(2.8%)	31億3163万円(-2.0%)

水道事業会計決算の内訳

	歳入	歳出
水道事業会計収益的収支	9億8117万円(-1.5%)	9億3855万円(-0.4%)
水道事業会計資本的収支	2億7730万円(96.5%)	5億5794万円(15.6%)

※資本的収支額で不足する金額については、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

○審査内容（主な質疑を抜粋）

Q 下水道維持事業にある管路マンホール業務委託の内容は

A 土浦・千代田工業団地内の雨水管が設置されてから50年が経過しており、老朽度および土砂等の体積の状況調査として、全線の管路においてカメラ、目視など調査を行ったものです。



▲土田地区農業集落排水処理施設

Q 農業集落排水事業と公共下水道を統合する計画の進捗状況は

A 機能診断を行ったうえで農林水産省との協議、手続き事業計画の変更等を段階を踏んでの接続工事となります。まずは土田処理場を公共下水道に統合する予定で今後も進めていく予定です。

Q 水道事業における給水人口が減少傾向にあり、給水戸数が増加傾向にある理由は

A 本市の人口減少にあわせて給水人口も減少傾向にありますが神立周辺地域の宅地開発などにより給水戸数はふえております。戸数に対して人口がのびないのは、各世帯における核家族化が進んでいるものと思われる。



▲かすみがうら市水道事務所



Q 国民健康保険の出産育児一時金の不用額が多いようだが原因は

A 過去3年間の平均件数で予算を計上しておりましたが、実績は23件でした。考えられる要因としては、被保険者の年齢層が高くなっていることが挙げられると思われま。

Q 後期高齢者医療の保険料は年々高くなっているのか

A 後期高齢者医療の保険料額は2年ごとに見直しが行われますが、平成24年度以降据え置き状態になっております。県の後期高齢者医療広域連合で算定していますので県内すべて同一の保険料体系になっております。

